

テーマ

地域の宝を育てる応援団 -SAKURA ネットワーク-

目標

～15歳の春に豊かな花を咲かせるための協働～

今年度の取組紹介

地域合同行事

- ・SAKURA 夢フェスタⅣの開催
バサラの演舞・地域各団体による模擬店・校区対抗綱引き
- ・都南の森 作品展示
校区幼稚園・小学校・中学校のこども作品の展示会



コミュニティールームの開設

- ・SAKURA 夢スクールの運営支援
着付け教室・英会話教室・美文字で年賀状・編み物教室・アメリカンフラワー教室
- ・都南の森 作品常設展示を開始しました。
展示ボードの設置準備→年間を通した展示を計画中です



協議会の運営

- ・実働に即したコーディネーター会議の位置づけ
学習支援・登下校安全・環境整備・部活動支援・文化活動・地域合同行事の6事業
- ・中学校運営協議会との連携
夏期合同研修会 薬師寺執事 大谷 徹柴さんの講演会
より良い人間関係のために 「よっぼどの縁」

今年度のまとめ

地域教育協議会組織の実効的な活用（6つの事業担当のコーディネーターと事業担当者との連携）

学習支援・登下校安全・環境整備・部活動支援・文化活動・地域合同行事の6事業ごとの学校園の事業担当者とコーディネーターとの打ち合わせ会議を実施しました。

子供たちの自主的な参画を促す取り組み（コーディネーター、ボランティアとの協働）

カレー都南・クリーンキャンペーン・防災力強化プロジェクトなどで子ども達が計画段階から自主的に参画できました。

広報活動の工夫 地域・部活動支援・都南の森が地域回覧板・掲示板を有効に活用できました。

来年度に向けて

子ども達に地域の一員としての自覚を促す取組

地域防災訓練等の地域行事で、子ども達に役割を与え、地域の一員としての自覚を培います。

地域への広報活動の工夫

多くの方に地域と学校の協働を周知し、積極的に参画してもらえる手立てを工夫します。

テーマ

地域に開き、地域と共につくる学校

目標

学び合い、高め合う学級集団を礎とした「新しい学びのスタイル」の定着と、基本的な生活習慣の確立と体力向上および規範意識の向上をめざす。

今年度の取組紹介

生徒が地域の一員としての意識を持てるように、生徒が参画していく事業を推進しました。

- ・「カレー都南」の取組

有志ボランティアによる生徒自ら計画し運営することで、参画することの大切が理解されつつあります。

- ・地域合同防災訓練への参画

地域の一員としての自覚を持って参画し、中学生ができる役割を果たすことができました。

- ・校区クリーンキャンペーンの展開

学校内に加え、周辺地域の清掃ボランティア活動も昨年度以上に積極的に取り組みました。



地域に開かれた学校をアピールするための事業の展開

- ・体育大会、文化発表会等諸行事の公開

招待状を配布することで、保護者だけでなく、地域の方々の参加も年々増加しています。

- ・SAKURA 夢スクールの開校

英会話教室・美文字教室・着付け教室・編み物教室・アメリカンフラワーの運営サポート

- ・学校運営協議会と地域教育協議会の連携

夏期合同研修会（薬師寺執事 大西 徹夫）さんの講演会共同開催

今年度のまとめ

- ・SAKURA 夢スクール

開校できた講座（英会話教室・美文字教室・着付け教室・編み物教室・アメリカンフラワー）南部公民館の協力・都南の森学芸員の協力で運営を始めることができました。

- ・学習支援教室

放課後自習教室のスタート（自学自習のための教室として、学習の仕方等のサポート）

- ・ひまわり農園

来年度スタートの時点からひまわり学級の農園を開放できるように準備が進んでいます。

来年度に向けて

学校主体の取組の計画

- ・学習支援教室の有効な実施（学習サポートのため土曜寺子屋の開校を試行します）

地域との合同事業の計画

- ・ひまわり農園の運営（畑の運営を地域の方に依頼し、協働で作物や花を育てます）

テーマ

「子ども力」育成プロジェクト

目標

—関わり合いを通して豊かな学びを育む—

今年度の取組紹介

「子ども力」とは、未来に向けての夢やあこがれを持って、その子なりに発揮できる力です。地域・学校が協働し、子どもたちが多くの人たちと関わり合いをもち「熱中する力」「好奇心を抱く力」の育成を進めるための事業を計画し活動を進めました。地域の方々による校地内の草刈りや花植え、校舎内のペンキ塗りなどで学校の環境整備は年々進んできています。ここでは、東市まるごと「通学合宿」・「子どもフェスタ」を紹介します。本校では、地域支援事業のボランティアの方々と奈良教育大学の学生ボランティアとの協働で、TNP（東市日本一プロジェクト）を立ち上げ、通学合宿はじめ放課後子ども教室「まなびーや」の事業を進めています。「通学合宿」は、今年で4年目を迎え、6月17日～22日の一週間にわたって地域の施設に泊まり、共同で生活や学習を行い学校に通うというプログラムです。参加した23名の児童は、買い出しや食事作り、掃除など日常生活を全員で協力し合って行いました。



「子どもフェスタ」は12回を迎え、地域と学校が一体となり、子ども達の健全育成のために、協力し力を合わせて健やかな成長を見守ることを目的に昨年度より日曜参観との合同開催で行っています。今年度は、雨天でしたが地域やPTAの方々、TNPの学生による模擬店や催し物に保護者、児童とも楽しい一日を過ごすことができました。エンディングでは、本校卒業生が入部している都南中吹奏楽部の演奏があり、好評でした。



今年度のまとめ

今年度の事業では、東市小学校運営委員会において話し合いを持ち、学校と地域との連携・協働による事業計画を立て実施をし、その際たくさんの方々に様々な事業に参加していただきました。特に、「通学合宿」や「子どもフェスタ」に参加して下さったボランティアの方々には、事前の打ち合わせも数多くありましたが、熱心に取り組んでいただきました。そして、当日は、プログラムを笑顔で楽しみ、事業の終了後は満足感や達成感を味わうことができました。学校と地域の距離がいつそう近づくとともに、地域との連帯感や一体感を感じることができました。また、学校整備事業にも、多くのボランティアが参加し、学校環境の充実が図られました。

来年度に向けて

ここ数年継続して行われてきた事業も、軌道に乗ってきています。この事業のさらなる発展を目指していきます。そこで、地域のボランティアの登録数を増やし、さらに、支援事業にかかわることができるように、広報活動やボランティア同士の交流を進めていきたいと思っております。そして、学校を核としたコミュニティ作りを地域とともに作っていただけるようにします。

テーマ

今日が楽しくて明日が待ち遠しい学校

目標

**楽しそう（予感） 楽しい（体感） 楽しかった（実感） という
連続性のある教育活動を地域とともに構築し、自尊感情の醸成を図る。**

今年度の取組紹介

○安全見守り活動

校区探検では、見守り活動ばかりでなく地域の案内役として、寺社・施設の説明や逸話を話してくださり、学習発表会につなげることができました。



○環境整備活動

植栽や掲示物作成において、PTAや児童も参加し共に活動しました。これまでは花壇が鬼ごっこなどで踏み荒らされることがありましたが、共に活動するようになって、花壇が踏み荒らされることはなくなりました。

○学習支援活動

生活科、社会科、家庭科等で協力いただきました。なかでも、「昔の遊び体験」では、民生・児童委員、万年青年クラブからたくさん来てくださり、子どもたちに遊びを教えてくださいました。



○チームドラゴンにインタビュー（2年）

ボランティアにインタビューし、思いや願いの聞き取りをしました。

学習後、「大きくなったらチームドラゴンに入る。」とボランティアと子どもの距離が近くなりました。

今年度のまとめ

2年生の聞き取り活動で、ボランティアの苦勞・思い・願いに直接触れた子どもたちは、これまで受け身的な傾向でありましたが、子どもボランティア（リトルドラゴン）として参加する児童が増えたり、自分たちができることを提案したりするなど、ボランティアと子どもの距離が近くなりました。

活動ボランティアの固定化や高齢化が少しずつ進んでいるものの、徐々にではあるが、新しい協力者の広がりも進んでいます。個別のつながりによる広がりもありますが、今年度は民生・児童委員の交代期でもあり、新旧の委員の方々共に今後も協力いただくように依頼しています。

来年度に向けて

多様化してきた活動内容の整理と組織的な活動ができるようにしたいと思います。

また、人材確保の面では、自治会や地区の役員等の立場上から協力いただく方もありますが、学校とボランティア、更にボランティア同士のつながりを深めることが人材の確保につながると考えます。活動の前後に、短時間であっても打ち合わせやふりかえりの時間を設定することで、意見の交流や心の交流ができます。そこから活動の活性化と人材の確保につなげていきたいと思っています。

テーマ

やさしく、かしこく、力もちの明治っ子

目標

○体育や外遊びの充実から運動好きな子 ○朝読や読み聞かせの取組から本好きな子
○みんなで花いっぱいの学校づくり ○コミュニケーションを大切にして豊かな心に確かな学力を

今年度の取組紹介

花いっぱいの学校

地域の方や教職員、児童が主体的に環境整備に関わっていくため、地域の方が花の苗を提供してくださるなど、「花いっぱいの学校」を目指して取り組んできました。さらに、潤いのある落ち着いた学校環境の整備をより充実しなければならないと考えています。



元気いっぱいの学校

地域の方（万年青年クラブ、学校施設開放団体等）と毎年実施している環境整備作業では、樹木の剪定及び草刈作業・運動場の整備を行うことで、学校環境の整備と体力向上の基盤となっています。

おはなしいっぱいの学校

本年度も蔵書の計画的な整理作業を行い、教員の指導の下、パソコンでの図書管理（貸出、読書傾向把握等）を推進し、児童も操作できるようになりました。また、毎月2回地域の方を講師による「お話の会」や低学年の「絵本の読み聞かせ」は、児童の読書意欲向上に繋がっています。



学びいっぱいの学校

算数科を通して、地域の方を講師として招聘し基礎・基本を大切にした研修を計画的に推進し、指導力向上を目指すとともに、楽しく分かる授業のために教材教具の充実に努めました。また、地域の方の支援を得ながら車いす体験学習等互いに交流も深めながら、ふれ合いを通してコミュニケーション力や人にやさしい心を育ててきました。



今年度のまとめ

「学力（算数、総合学習等）・蔵書の充実・体力の向上・環境整備」の計画を9割以上実施できました。このことから、「いろいろな行事で子どもたちはきびきびと元気に活動している」「先生も地域の行事にたくさん参加している」等地域の方の声とともに、子どもたちとの交流の場が増え子どもに社会性が身につく等、テーマに基づく取組目標をほぼ達成し大きな成果をあげることができました。

来年度に向けて

地域力の向上（地域行事、人、物等）を図るため、地域の方とよりつながりを深めながら、さらに各事業計画の点検と内容の充実を図っていきたいと思います。

テーマ

地域とスクラム、学び育つ帯解アクション

目標

地域と連携し、21世紀を自主的・創造的に拓いていく**心身ともにたくましい帯解っ子を育成する。**

今年度の取組紹介

本校区には、学校教育に対して協力的で、児童が地域の宝と考える方がたくさんおられます。学習活動の中に聞き取り学習を組み込み、地域の方々をゲストティーチャーとして招き、地域について色々なことを学び、帯解文化の花を児童の心に咲かせていきたいと考え取り組んできました。また、地域の人との体験・交流学習に取り組んできました。戦争体験・車椅子・在日外国人の方など様々な方の苦勞や願いを聞きました。1・2年の児童は色々なコーナーに分かれて、万年青年クラブの方々から昔の遊びを教えて頂き、昔遊びの技を体験しました。また、幼稚園や保育園の園児といっしょに校章の水仙を植え交流も深まりました。毎年、社会福祉協議会のお世話で餅つき大会を開いてもらっています。千本杵で餅をつき、みかんやお茶餅をおいしく頂きました。栽培学習では、豊かな思いやりのある児童を育てるために、野菜・米・花を学級園や借り上げた田や畑で栽培し、作り育てる苦勞や収穫の喜びを体験しました。米や野菜を育てるのは、食育教育の一環としての成果がありました。また、一人一鉢運動で花や野菜を育てることで、しっかり観察して生き物を大切に思う心が育ち、豊かな感性を育てるのに大いに役立ちました。



今年度のまとめ

地域の方との様々な体験・交流活動や聞き取りの活動は、児童にとって知見と多くの人とのつながりを広げ、豊かな感性を育てることにつながりました。また、栽培学習を通して、花や野菜をしっかり観察して大切に思う心や、芽が出たことを楽しみ花が咲いたことを素直に喜べる感性が育ってきています。「今まで野菜が嫌いだったのに、学校で作った野菜は食べています。良い経験ですね。」という保護者の声も聞かれました。教育活動の様々な場面で、地域の方々に支えられながら児童は育っています。

来年度に向けて

学校だけではできない取り組みに地域の方が参加していただいたり協力していただいたりすることで、児童の学びはさらに深まると考えます。今後も地域の方々の気持ちに応え、前向きに実践していきたいと思えます。

テーマ

輝け 精華っ子

目標

基礎学力の充実とさまざまな出会いや体験を通して、仲間を大切に、地域を愛する豊かな心を育てる

今年度の取組紹介

今年度は、被災地の復興支援として、陸前高田市からいただいたヒマワリの種を育て、花を咲かせ、その種を陸前高田市に送るという取組を行いました。はじめに、『たねっこまくべえ会』の代表である木下さんから、東日本大震災や被災地の様子を語っていただきました。子どもたちは、木下さんの話されることに真剣に聞き入っていました。その後、一人一人がヒマワリの苗を手に取り、プランターに丁寧に植えていきました。8月には、大きく育ったヒマワリをバックに集合写真を撮りました。秋になり、一人に1つのヒマワリから種を取り、それを木下さんに渡す手交会を行いました。この一連の活動には、地域の方にも参加していただき、見守っていただくことができました



精華の伝統行事である干柿作りを行った。地域の万年青年クラブの方々にナイフの使い方や柿の皮のむき方を教えていただき、一緒に約5000個の皮をむく作業を行いました。そして、その柿を10個ずつ串に刺して、各教室の窓の外に干し、12月中旬に、精華地区の全戸に子どもの手紙と共に配りました。



この活動を通して、地域の方とのつながりを深め、生まれ育った自分の土地を愛する心を養うことができたと思われま

今年度のまとめ

- ・干し柿作りの仕上げとして、精華校区の全戸に、出来上がった干し柿を子どもの手紙と共に配りました。地域の方から感謝のお手紙をいただくなど、喜んでもらうことができました。
- ・地域の方々にたくさんのことを教えていただく中で、地域のよさに気付き、自然や伝統を大切に守っていこうとする気持ちが強く感じられるようになってきました。

来年度に向けて

今後もさまざまな体験を通して、児童の豊かな心を育てる取組を続けていきたいと思ひます。また、行事の一部の企画・立案・運営を児童に任せるなどして、主体性を高め、生きる力を育てる取組も行っていきたいと考えています。

テーマ

地域とともにキラリと輝く東市の星

目標

地域の方々や未就園児・近隣園などのふれ合いの中で、進んで活動し、心豊かに強くたくましく生きる力を育む

今年度の取組紹介

本園は自然豊かな農業・住宅混在地域で、園児15名の少人数で家庭的な雰囲気の中、園生活を送っています。保護者の希望もあり体力向上をめざし、地域在住の体操講師先生の力を借りて『親子体操』を学期に1回実施し、親子で音楽に合わせて体をほぐしたり用具を使って体操をしたりと体を動かす心地良さを味わうことができました。8月“地域盆踊り”では『親子体操』の踊りを一



緒に踊ったり、10月“東市まるごと子どもフェスタ”では、幼稚園リズム室で未就園児・幼保園児・地域の方と共にリズム遊び・体操をしたりして楽しく触れ合うことができました。11月“敬老の集い”では、『体操遊び』で覚え運動会でも披露した踊りを舞台上で演じ、地域の方に見てもらい嬉しかったです。大きな拍手をいただき、終了後には参加の高齢者の方一人一人と握手をしながら「上手だったね、ありがとう」

「来年も楽しみにしているよ」と、声をかけてもらい大きな自信と喜びになりました。2月には、未就園児保育でも『親子体操』を実施し、好評を得ました。年間通して、園児たちは『体操遊び』の地域の講師先生と触れ合い、親しみをもって話しかけ自分からかかわろうとする姿も見られました。一年間の継続した活動は、運動する喜びや地域の方との温かな触れ合う機会が増え、親も子も心待ちにする楽しい活動になりました。2月に地域の方を音楽鑑賞会に招待し、手作りキーホルダーを渡し感謝の気持ちを伝えることができ、とても喜んでいただきました。

今年度のまとめ

年間を通して実施している「未就園児保育」「絵本読み聞かせ」「親子体操遊び」「親子茶道教室」「美化活動」などは、地域の方の協力と支援を得て、園児や保護者にとって心に残る大事な事業となりました。「近隣園交流会」では、顔なじみの友達もできて心待ちにする姿が見られました。“敬老の集い”後、お礼の葉書が届いたり、園外保育で声をかけてもらったり、園児たちに制作材料をいただいたり、地域の人々とのかかわりが広がり小規模園の良さを生かした地域に開かれた幼稚園として高い評価を得ました。地域の方々との心温かな触れ合いが、見守られているという安心感や自分から挨拶をしよう、かかわろうと進んで活動する姿に繋がり、たくましく生きる力を育むことができました。

来年度に向けて

今年度、実施した取組をさらに工夫し、新しく取り入れた「リトミック遊び」「地域力を生かした環境整備」も好評なので来年度も継続したいと考えています。体力の低下や根気力の弱さが見られるので、今後も少人数をメリットに一人一人の体力向上に努め、根気力も養いたいです。地域力を最大限に活用して、地域の幼稚園として期待に応えられるように努めていきたいと考えています。

テーマ

笑顔がいっぱいみんな大好き明治幼稚園

目標

地域とのかかわりや「ひと・もの・こと」とのつながりの中で、心の躍動や生きる力の向上を目指す。

今年度の取組紹介

昨年度より継続し取り組んでいる「幼児のコミュニケーション力や表現力の向上」に加え、今年度新たに、“自ら身体を動かすことを楽しみながら運動能力の向上を目指したい”と願い、意欲的に運動できるような環境や保育内容を創造しながら、地域の環境や人材を計画的に取り入れ、進めました。

【民生児童委員さんと継続して交流する中で、
身体を動かすことを楽しもう】

- 地域の民生児童委員さんと毎月1回交流会をしています。今年度は、交流前に、事前に保育内容と育てたいことを共通理解し、小グループでの交流を進めるようにしました。継続しかかわる中で、幼児の側から積極的に声をかけたり、意欲的に身体を動かし遊びを楽しんだりする姿が見られるようになりました。

5月 紙鉄砲作り、わらべうた遊び

6月 紙飛行機作り

9月 ハードルづくり

11月 縄跳び遊び 12月 体力作り駆け足 1月 お正月遊び(たこあげ、羽根つきなど)



今年度のまとめ

民生児童委員さんやマーチングの先生、お茶の先生などの地域の教育力をいかし、計画的に取り組む中で、地域の方々からも「幼児の成長を間近で感じる事ができた」などの言葉をいただくことができました。また、民生児童委員さんとは、小グループでより充実してかかわっていただけるよう工夫したり、保育とつながりをふまえて計画的に実施したことで、幼児自身も次の交流を楽しみに思い、意欲的に活動しようとする気持ちをもつようになりました。幼児の意欲の向上には、地域の方々の温かいかわりや、教育的意図を理解した上で認め励ましてもらえる存在のもつ力は大きいです。今後も、地域との良い協力体制を保ちながら、共に幼児の成長を見つめていきたいと思ひます。

来年度に向けて

職員間や地域の方々との継続したかわりや様々な経験を、日々の生活や保育の中にどのように位置づけ、つなげていくか、事前の話し合いや事業内容を工夫しながら、より効果的に幼児の育ちへとつながるようにしていきたいと思ひます。

テーマ

手をつなごう精華の輪

目標

人・物・植物等との様々な触れ合いを通して、地域の自然や人々を愛し、自ら活動する子を育てる。

今年度の取組紹介

今年度は、カプラのワークショップを開き、未就園児や地域の方・おうちの方と一緒に「カプラ遊び」を体験しました。

たくさんのカプラを見て、子どもたちも大人もワクワクハラハラドキドキしながら、高く積む競争をしました。また、保育室いっぱいが高層ビルや高速道路をみんなで協力して作ったり、大きな「かまくら」に入ったりして楽しく遊びました。最後に、ナイアガラの滝では、積んだカプラが順番に崩れていくのを見て、歓声が起こり、カプラ遊びをして満足感を味わう体験となりました。

地域の清澄窯で、年2回（親子・他園）焼き物を体験させていただきました。陶芸の先生に土の伸ばし方やつけ方・ろくろの使い方を教わり皿やお茶碗をつくりました。その後、小学校の茶会に招待していただき、地域の方々や6年生の児童から茶室への入り方や、行儀作法・お菓子やお茶のいただき方等を教えていただきました。子どもたちは、日本の伝統文化にふれ、緊張の中にも穏やかなひとときを過ごすことができました。



今年度のまとめ

人・物・植物等との触れ合いを通して、地域の子育て支援や各種団体の方々に多様な体験をさせていただき、興味関心を広げ、親子で楽しさを共有でき、地域の方に親しみをもって、親子で、自らわかろうとする力がついてきました。

他校園との交流を通して、たくさんの友達とかかわる楽しさを知り、多種多様な経験や感動体験を共に育ってきました。

来年度に向けて

地域の方や未就園児・他校園との交流を通して、様々な人とかかわる力を身につけ、心身共に健全で地域の自然や人々を愛し、主体的に活動する子どもを育てていきたいです。

テーマ

一人一人が輝く感動いっぱいの幼稚園

目標

- ・ 様々な出合いや体験を通して、生きる力・豊かな心を育てる。
- ・ 地域よさを知り、辰市大好きな子どもに育てる。

今年度の取組紹介

《親子栽培活動》

地域の方に教えていただきながら年間をとおして四季折々の野菜の栽培活動に取り組んでいました。5月にはトマト・きゅうりの栽培活動を親子で取り組みました。毎朝親子で水遣りをし、除草・追肥・支柱立て等も地域の方に教わりながらすることで、生長を楽しみにする親子の会話が生まれ、大事に育てようとする姿が見られました。9月には小豆を栽培し収穫を行いました。収穫した小豆を毎日外で干すことや、干した後、莢から豆を一粒ずつ取り出すことを地域の方に教えていただき、「こんなにして小豆が成ってるんや」「かわいい」と言いながら取り出していました。収穫した小豆で地域の方にぜんざいを作っていただき、楽しく食べることができました。



《民生委員さんとの触れあい会》

地域の方を園に招き、風車・竹馬・缶馬を一緒に作ったり、遊び方を教えてもらったりしました。初めは緊張し戸惑い気味でしたが、地域の方々の優しい笑顔や言葉にだんだんと心が和み、「風車どうやって作るの？」と自分からたずねたり、「回るととてもきれい」と、生き生きと遊ぶ幼児の姿が見られました。また、竹を切ってきて縄で結んで作っていただいた竹馬に園児たちは驚き、興味をもちました。竹馬が初めての園児も地域の方に支えてもらい、少し歩けると喜んで何度も挑戦する姿が見られました。地域の方の温かさや優しさを感じながら昔遊びを楽しむことができました。



今年度のまとめ

地域の教育力を活かし、自然体験や触れ合って遊ぶ様々な感動体験を積み重ねてきました。栽培活動では、育て、収穫する喜び、自然の恵みを感じ、食べ物を大切にしようという気持ちが育ちました。また地域の方との温かい触れ合いを通して、地域の方を身近に感じ、優しさや温かさ、地域の方に守られているという気持ちを感じることができ、感謝や尊敬する心も育ってきています。また頑張ったことをほめてもらうことも自信につながり、さらに意欲をもって取り組めるようになりました。地域の助けをたくさんいただきながら、より一層の豊かな感性を育む保育の充実を図っていきたいと思います。

来年度に向けて

今年度の様々な取り組みは子どもたちの心に響く体験となり、豊かな心の育ちにつながりました。地域の方々からの大きな協力と支援を得ることができたからこそその成果だと考えます。今後も様々な豊かな体験を積み重ね、一人一人が輝けるようにしていくことが大切であると考えます。本園の校区はすぐれた人材に恵まれています。来年度も、幼稚園が地域とつながり、地域の教育力を生かし、人との触れあいの中で感動する体験を多く取り入れ、地域に根ざした園づくりに努めていきます。

テーマ 地域と共にみんなで 出会い・ふれあい・育ち合い

目標 地域の人々や社会、近隣校園と交流を深め、豊かなコミュニケーション力を培う。
地域の豊かな自然や伝統文化、建造物に触れ自分の町を大切に作る気持ちをもつ。

今年度の取組紹介

○ 帯解地域のひとり暮らし老人との交流

交流までを万年青年クラブの方と相談し計画をしました。一緒に歌やわらべうた遊びをしながら、今まで地域や子どもたちのために精一杯、がんばって来られた方々の温かいまなざしと心に触れる機会となりました。一人暮らしの老人の方へ、幼児から絵手紙を書き、一人ひとりへ手渡ししました。その後、参加されていた方から幼稚園へ手紙が届き、幼児は、大事にじっと聞いて見て、「また、会いたいなあ。」と、相手に思いを馳せながら話す様子が見られました。



○ 中学校区内の伝統文化や建造物、地域の方とのかかわり

毎年、取り組んでいる近隣園3園との園外保育「正暦寺」の紅葉狩りを実施しています。正暦寺では、都南中学校地域教育協議会副会長様のご配慮により、正暦寺についてや紅葉狩りについて、日本古来からの伝統的建造物や昔の人が楽しんだ風流な雰囲気味わうことができました。帯解幼稚園地域コーディネーターの方の引率もあり、地域とかかわって共に楽しむ機会となりました。



○ 地域の方のコーディネートにより木管五重奏の演奏を鑑賞

「クラシックを楽しむ会」の事務局長をされている方のコーディネートにより、木管五重奏の演奏という、すばらしく楽しい音楽を鑑賞することができました。近隣園も一緒に鑑賞し、都南中学校区の過小規模園の交流の機会になりました。

今年度のまとめ

- 地域コーディネーターの方のご協力により、園教育推進上、多大な協力を得ることができました。また、都南中学校区でのつながりのある取組が出来てきています。過小規模園にとって、地域と共に歩む筋道が出来たように考えます。様々な取組に、地域の世代間交流をすることが、幼児にとっては、これからの人生に心の豊かさをもたらすと考えます。
- 園外保育や行事に、地域コーディネーターの方の参加により、幼児の様子がよくわかり、次への計画や支援の方法が明確になったと思われまます。

来年度に向けて

- 幼児の心身の健康な発達に向けて、幼児と地域の方と一緒に行事に参加し、互いに心の交流をもてるように、計画を構築していきます。
- 幼児も保護者も地域とかかわり、みんなで育ちあえる計画に向けて取り組んでいきたいと思ひます。